



新年の志を胸に

校長 渡辺 一信

1. 平成28・29年度港区教育委員会研究奨励校

研究主題「グローバル社会を主体的に生き抜く生徒の育成」 【知】

2. 平成28・29年度 東京都研究指定校「道德教育推進拠点校」 【徳】

3. 平成28・29・30年度 東京都研究指定校「スーパーアクティブスクール」【体】

あけましておめでとうございます。

保護者の皆さま、地域の皆様には、明るくさわやかな新年を迎えられ、志も新たにしたことと思います。

生徒の皆さんも学期の締めくくりとして、また、新しい学年を迎える年として決意も新たに第1歩を踏み出したことと思います。新たな志や決意を共に実現できるよう本年もよろしくお願いいたします。

日本では古くから「一年の計は元旦にあり」といいます。計とは、計画という意味もありますが、むしろ、新年を迎えての願いや希望のニュアンスがあります。この願いや希望・夢を持って抱負を抱くことが「一年の計」だと思います。一人一人の「今年はどうするぞ」の決意を達成するために「目標」を決め実現の計画をすることです。すでに生徒の皆さんは、目標達成の1年のスタートを切ったことと思います。「薬ものまざれば病も癒えず」といいますが行動を起こさなければ成るものも成らないということ

です。梯子も最初の横木に足をかけて一段一段上るから高い目標でもしだいに高いところに至ることができるのです。つまり、何事もことを成すには一歩一歩堅実に進むことが大事なのであります。

目標を達成する決意を常に忘れずに雨が降っても、たとえ雪や氷が降っても目標に向かって歩みをやめないで一歩一歩前進して行きましょう。

いよいよ、3学期が始まり、新しい年・新しい学期がスタートしました。始業式の生徒の皆さんの姿勢や顔つき、そして礼をする姿を見てとてもすばらしい態度に今年もいいスタートが切れるなと感じました。

昨年は、港南中学校の港区教育委員会研究奨励校、東京都道德教育推進拠点校の研究発表会を行いました。生徒の授業や発表の態度はまさに「主体的・協働的学び」の姿を体現していました。研究発表のテーマは、「グローバル社会を主体的に生き抜く生徒の育成」～主体的・協働的な学びを通して必要とされる資質・能力を育む授業づくり～です。これから社会に出て、多様な未知の分野に遭遇した時、問題を解決し、新しい価値を創造する力、グローバル・コンピテンス即ち、多様な価値観・アイデア・信仰などを受け入れ、自分と違う考え・存在を尊重し、意見をまとめ連携していけるか、という多様性を受け入れる力が求められるとされています。私たちは、これからの社会に通用する力、個人として外に切り開いていく力、判断力、決断力、解決力、理解力、表現力、感性、独創性、共感性等々を身に付けていく必要があります。これらは、教えられるものでなく体得していくものです。体得していくためには、いろいろな学習場面に身を置いて経験していくことです。そして、多種多様な体験を通して自分を創り「生きる力」を身に付けていくのです。

さて、3学期は、あっという間に過ぎてしまいます。3年生は、いよいよ高校受験が間近になりました。一つ一つやりきって受験に臨むことです。悔いの無いようにしていきましょう。1・2年生は、新しい学年への助走の学期として大きく踏み出さなければならない年です。先輩の後をついで、そして、新入生のお手本となるように今年もそれぞれ一人ひとり目的を明確にして充実した3学期を生活していきましょう。

